

平成24年中の交通事故発生状況

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛知県	49,651	△ 347	235	10	61,576	42
稲沢市	807	△ 64	5	3	1,007	△ 73

【愛知県の状況】

平成24年は、人身事故件数(平成23年比 347件減)は大幅な減少となりましたが、交通事故死者数は235人(同10人増)に増加して全国ワースト1位となり、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔交通死亡事故の主な特徴〕

年齢層別では、高齢者(65歳以上)が123人(同9人増)、一般(25~64歳)が82人(同10人増)、若者(16~24歳)が26人(同6人減)、子ども(15歳以下)が4人(同3人減)となっており、高齢者の割合が全体の5割を占めています。

当事者別では、歩行者が89人(同11人増)、四輪車が63人(同3人減)、自転車が44人(同4人増)、自動二輪が24人(同1人増)、原動機付自転車が13人(同5人減)の順に多く、歩行者、自転車の増加が目立ちます。

【稲沢市の状況】

平成24年は、人身事故件数(平成23年比 64件減)、負傷者数(同73人減)ともに減少となりましたが、交通事故死者数は、5人(同3人増)と増加してしまいました。

〔交通死亡事故の主な特徴〕

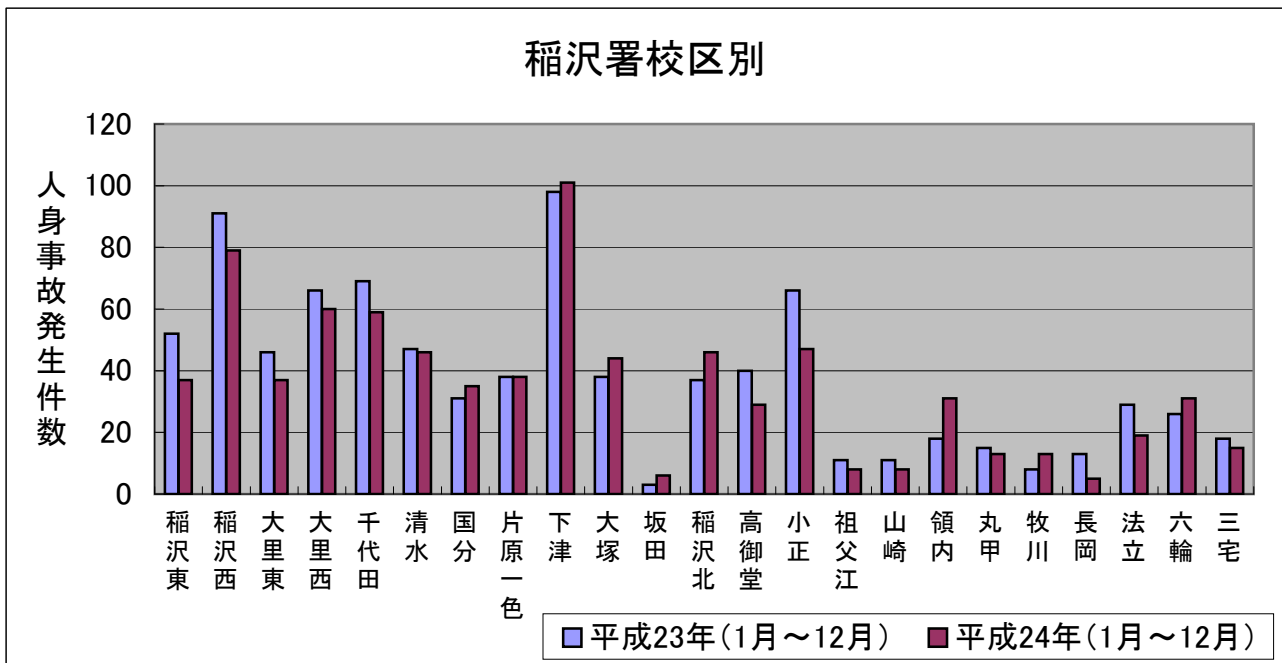
交通事故でなくなられた方5人全員が高齢者(同乗者・自転車・歩行者)となっています。

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約64%を占めています。

また、自動車相互の事故が488件(同31件減)と最も多く、次いで自転車対車両の事故が169件(同19件減)となっております。

地域別では、稲沢664件(同58件減)、祖父江78件(同2件増)、平和65件(同8件減)となっております。

小学校区別では、下津、稲沢西、大里西の順で発生件数が多く、また、大塚、稲沢北、領内、牧川、六輪では、前年に比べ5件以上増加しています。



【事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・交差点や交差点付近では、よそ見、見落としに十分注意し、うっかりによる交通事故を減らしましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかりと確認し、無理な横断はやめましょう。

安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。

